

哺乳類が活躍！？カシウクズマメの送粉様式

小林 峻先生（琉球大学・理学部・海洋自然科学科・生物系）



マメ科植物の中には、花びらの内側に隠されているおしべとめしべを露出させる「裂開（れっかい）」というステップを持つ仲間がいます。裂開は、植物自身で行うことができません。花が裂開しないと、おしべもめしべも隠されたままなので、受粉することができず、実を作ることもできません。そこでこれらの植物は、花を訪れる動物の助けを借りて花を裂開しています。花に来た動物が、花を裂開すると、その動物の体に花粉がつき、花粉が別の花に運ばれることで受粉して、実ができます。西表島にもこのような仕組みをもつ植物が生育しています。今回はカシウクズマメの受粉の仕組みと受粉を手助けする動物を紹介します。

日時：2025年 6 月 24 日 (火) 19:00 – 20:00頃

会場：琉大熱研・西表研究施設・講義室

入場無料・事前申し込み不要（座席数には限りがあります・30席予定）

問い合わせ先

琉球大学・熱研・西表研究施設・事務室

電話：0980-85-6560

公開講座問い合わせフォーム →

